

関係各位



センチュリー・システムズ株式会社
代表取締役 田中 邁

FutureNet シリーズ「セキュリティ適合性評価制度★1」への適合を完了 ～JC-STAR マーク取得により、より安全・信頼性の高い IoT 製品を提供～

センチュリー・システムズ株式会社（本社：東京都武蔵野市、代表取締役：田中 邁、以下：センチュリー・システムズ）は、当社が展開する **FutureNet シリーズ**の一部製品について、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が運用する「IoT 機器に対するセキュリティ適合性評価制度（JC-STAR）」において、★1 の評価基準への適合を完了し、JC-STAR マークの取得が認められましたことをお知らせいたします。

今回、★1 の適合が完了した対象機種は以下の通りです。

IoT ゲートウェイ			産業用小型ルータ
			
FutureNet MA-X300 シリーズ	FutureNet MA-X200 シリーズ	FutureNet MA-S120 シリーズ	FutureNet AS-M250 シリーズ

※FutureNet MA シリーズをお客様が独自にカスタマイズする場合は、セキュリティについてはお客様で確保のうえ必要に応じて JC-STAR マークの申請を行ってください。

また、今後は **FutureNet NXR シリーズ**および **FutureNet AS-200 シリーズ**についても、同制度への対応を予定しており、順次、適合取得に向けた準備を進めてまいります。

本制度は、IoT 機器のセキュリティ機能を評価・可視化し、利用者が安心して製品を選定できる環境を整備することを目的としています。経済産業省の監督のもと、IPA が制度の運用を担い、2024 年 9 月には正式に「JC-STAR マーク」が創設されました。

評価は、最低限のセキュリティ要件を満たす★1 から、より高度な基準に対応する★4 までの 4 段階で構成されています。2025 年 3 月より★1 の基準が正式導入され、**FutureNet シリーズ**はこれにいち早く対応した形となります。

IoT 製品のセキュリティ強化が社会的に求められる中、当社は今後も、業界標準に則った堅牢なセキュリティ対策を実装し、信頼性の高いネットワーク製品を通じて安心・安全な IoT 社会の実現に貢献してまいります。



JC-STAR★1 のセキュリティ要件・適合基準

★1で考慮する主な脅威	脅威に対抗するために★1で求める適合基準	
	IoT 製品に対する適合基準	
	カテゴリ	適合基準の概要
1. 外部からの不正アクセスの対象となり、マルウェア感染や踏み台となる攻撃等を受けることで、情報漏えい、改ざん、機能異常の発生につながる脅威	識別・認証、アクセス制御	(1)適切な認証に基づくアクセス制御 (2)容易に推測可能なデフォルトパスワードの禁止 (3)パスワード等の認証値の変更機能 (4)ネットワーク経由のユーザ認証に対する総当たり攻撃からの保護
	脆弱性対策、ソフトウェア更新	(6)ソフトウェアコンポーネントのアップデート機能 (7)容易かつ分かりやすいアップデート手順 (8) アップデート前のソフトウェアの完全性の確認機能 (10) ユーザが製品型番を認識可能とする記載・機能
	インタフェースへの論理アクセス	(13)不要かつリスクの高いインタフェースの無効化(物理的・論理的な通信ポート等)
	データ保護	(11)製品に保存される守るべき情報の保護(保存データの暗号化、物理的保護による保存、OS セキュア管理等)
2. 機器の通信が盗聴され、守るべき情報が漏えいする脅威	データ保護	(12)ネットワーク経由で伝送される守るべき情報の保護(通信の暗号化、保護された通信環境の利用等)
3. 廃棄・転売等された機器から、守るべき情報が漏えいする脅威	データ保護	(15) 製品内に保存される守るべき情報の削除機能 ※(11)も含む
4. ネットワーク切断や停電等の事象が発生した際に、セキュリティ機能に異常が発生する脅威	レジリエンス向上	(14) 停電・ネットワーク停止等からの復旧時の認証情報やソフトウェア設定の維持(初期状態に戻らないこと)

/// その他セキュリティ向上を支援するサービス ///

WarpLink CMS-Cloud と **WarpLink ISC-Next** は、IoT 環境でのセキュリティ強化を支援するサービスです。複数のVPN ルータやIoT 端末のファームウェアや設定を一元管理し、常にセキュリティが最新の状態に保たれるようサポートします。また、UTM サービスにより、不正アクセスや危険なサイトへの接続を防ぎ、VPNを使ったセキュアなリモート管理を実現できるなど、これらのサービスを組み合わせることで、IoT 端末のセキュリティを向上できます。

WarpLink CMS-Cloud

WarpLink ISC-Next

/// センチュリー・システムズ株式会社について ///

センチュリー・システムズは、エンタープライズから組み込み、IoT/M2M システム開発等ネットワーク分野を中心に、ハードとソフトの開発を行う開発会社です。**FutureNet®**ブランドでの自社製品の提供を中心として、製品のカスタマイズや新規開発を含む受託開発、OEM 提供、ASP・クラウドサービス (**Warplink®**)の提供をしています。受託開発では M2M、センサネットワーク、遠隔監視制御、高信頼ネットワーク、専用ゲートウェイ等の装置/システム開発や通信プロトコルのライセンス提供等で幅広い実績を持っています。

- ・会社名 : センチュリー・システムズ株式会社
- ・所在地 : 東京都武蔵野市境 1-15-14 穴戸ビル
- ・代表者 : 代表取締役 田中 邁
- ・事業内容 : ネットワーク製品ブランド FutureNet シリーズの開発・販売、製品のカスタマイズ、OEM 提供、IoT/M2M システム開発、受託開発、コンサルティング、ASP・クラウドサービス

● お問い合わせ先

ご質問、お問い合わせは弊社営業部までお願いします。

なお、ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

電話 0422-37-8112

FAX 0422-55-3373

電子メール press-release@centurysys.co.jp

ホームページ <https://www.centurysys.co.jp/>

以上、新製品の紹介とさせていただきます。何卒よろしくお取り計らいの程、お願い申し上げます。

-
- ・ 「FutureNet®」、「Warplink®」 はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
 - ・ その他、文中の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標、サービス名称です。